

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「GSエマージング通貨債券ファンド 年2回決算コース」は、このたび、第10期の決算を行いました。本ファンドは、エマージング諸国の現地通貨建て債券への分散投資を通じて、相対的に高い金利収入と長期的な通貨価値の上昇を捉えることをめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第10期末(2022年12月22日)		第10期	
基準価額	9,693円	騰落率	-1.36%
純資産総額	435百万円	分配金合計	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「ファンド一覧」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

## GSエマージング通貨債券ファンド 年2回決算コース

追加型投信／海外／債券

第10期(決算日2022年12月22日)

作成対象期間: 2022年6月23日～2022年12月22日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

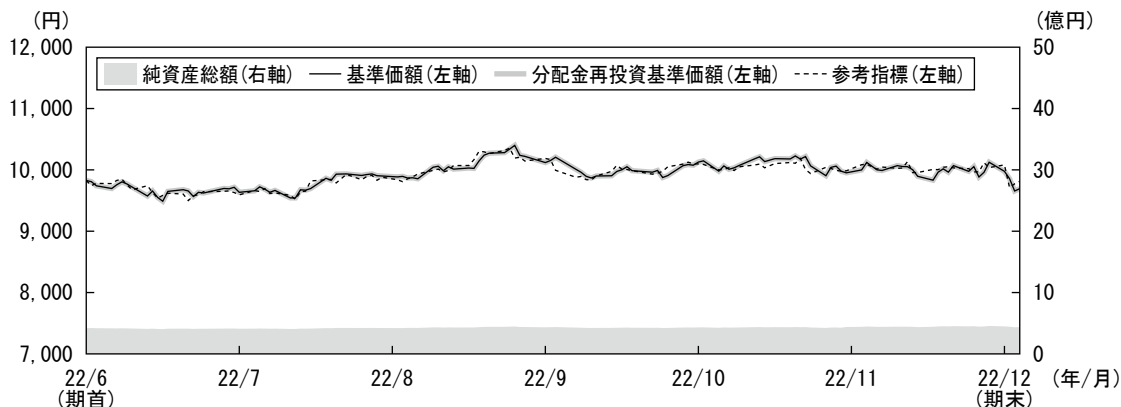
〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先: 03-6437-6000(代表)

受付時間: 営業日の午前9時～午後5時 | [www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)

## 運用経過

### ■ 基準価額等の推移について（2022年6月23日～2022年12月22日）



第10期首：9,827円

第10期末：9,693円

（当期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：-1.36%（分配金再投資ベース）

- (注1) 参考指標はJ Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額、参考指標は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

### ■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の9,827円から134円下落し、期末には9,693円となりました。

#### 上昇要因

現地通貨建てエマージング債券市場（現地通貨ベース）のトータル・リターンがプラスであったこと、保有している債券からのクーポン収入などが基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

エマージング通貨が対円で概ね下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・ デット・ローカル・ポートフォリオ* <sup>1</sup>	-0.98%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド* <sup>2</sup>	-1.73%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

- \* 1 ルクセンブルク籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. -ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ IXシェアクラス
- \* 2 アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ビーエルシー-ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド インスティテューショナル・アキュムレーション・シェアクラス

## 1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2022年6月23日～2022年12月22日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	51円 ( 3 )	0. 513% (0. 028)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种種類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(47)	(0. 469)	
(受託会社)	( 2 )	(0. 017)	
その他費用 (保管費用)	3 ( 1 )	0. 030 (0. 005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 目論見書・運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
(監査費用)	( 2 )	(0. 023)	
(その他)	( 0 )	(0. 002)	
合計	54	0. 543	

期中の平均基準価額は9,925円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

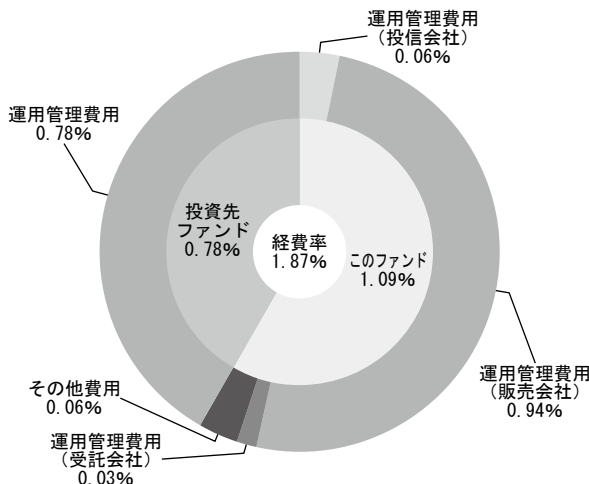
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

### (参考情報)

#### 経費率(投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く)

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料、有価証券取引税及び投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した経費率(年率)は1.87%です。



経費率(①+②)	1.87%
①このファンドの費用の比率	1.09%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.78%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが実質的に組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

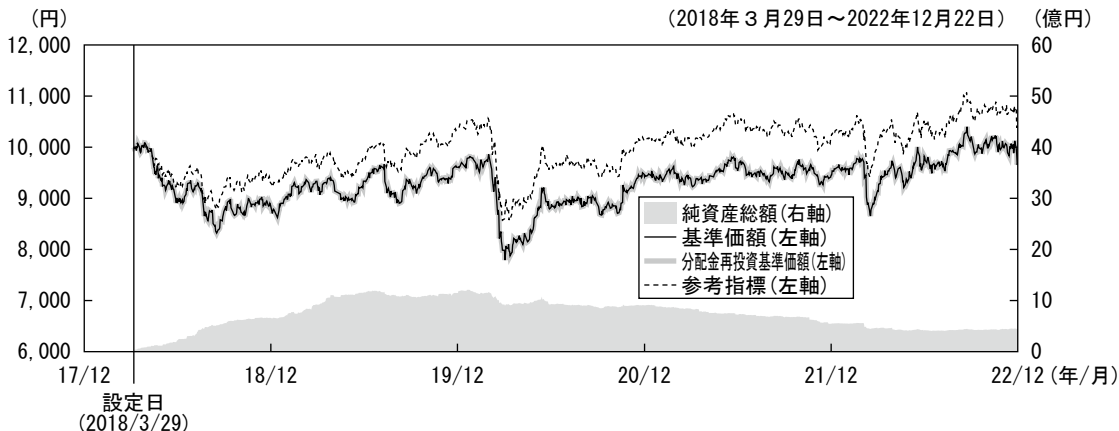
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がありますが、上記には含まれておりません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、設定日(2018年3月29日)の基準価額を起点として指数化しています。

## 最近5年間の年間騰落率

	2018/3/29 設定日	2018/12/25 決算日	2019/12/23 決算日	2020/12/22 決算日	2021/12/22 決算日	2022/12/22 決算日
基準価額(分配落)(円)	10,000	8,706	9,607	9,421	9,454	9,693
期間分配金合計(税引前)(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率	—	-12.94%	10.35%	-1.94%	0.35%	2.53%
参考指標騰落率	—	-7.43%	11.85%	-2.15%	0.72%	2.78%
純資産総額(百万円)	34	649	1,147	904	547	435

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## ■ 投資環境について

### <エマージング債券市場>

当期の現地通貨建てエマージング債券市場は上昇しました。期の序盤は7月の米CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことなどを背景に米利上げペースの鈍化観測が強まったことなどから上昇しました。その後は、FRB（米連邦準備制度理事会）の大幅利上げやタカ派的な姿勢、英国の財政悪化懸念を受けた英金利の急上昇などを背景に投資家のリスク選好度が低下したことなどから下落しました。期末にかけては米利上げペースの減速期待や中国のゼロコロナ政策の緩和観測などが好感されて上昇に転じ、現地通貨建てエマージング債券市場は前期末を上回る水準で期を終えました。国別では、トルコやチリなどの上昇が目立った一方、フィリピンやハンガリーなどが下落しました。

### <エマージング通貨市場>

当期のエマージング通貨市場は、対円で概ね下落しました。通貨別では、メキシコ・ペソやウルグアイ・ペソなどが相対的に堅調となった一方、エジプト・ポンドやコロンビア・ペソなどが相対的に軟調となりました。メキシコ・ペソは、同国中央銀行が政策金利の引き上げを決定したことなどがプラス材料となりました。一方、エジプト・ポンドは、同国中央銀行がより柔軟な変動相場制に移行すると発表したことを受け、下落しました。

### <短期金融市場>

当期において、米国T-Bill 1ヵ月は期首の0.86%程度から3.67%程度まで上昇して期末を迎えました。

## ■ ポートフォリオについて

### <本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、当期を通じてゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオを概ね高位に組入れることによって、エマージング諸国の現地通貨建て債券に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### <ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ>

期首においては、南アフリカやメキシコの現地通貨建て債券のほか、ブラジル・レアルといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、ルーマニアやチェコの現地通貨建て債券のほか、トルコ・リラや台湾ドルといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。期末においては、南アフリカやメキシコの現地通貨建て債券のほか、南アフリカ・ランドやシンガポール・ドルといった通貨などに対して相対的に強気のポジションを取った一方、コロンビアやチリの現地通貨建て債券のほか、トルコ・リラやイスラエル・新シェケルといった通貨などに対して相対的に弱気のポジションを取りました。

上記のような運用の結果、当期のパフォーマンス（米ドルベース）は、ベンチマークであるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケッツ・グローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）を上回りました。

当期は、メキシコやエジプトなどの現地通貨建て債券のポジション、ハンガリー・フォリントなどの通貨ポジションがプラス寄与となりました。一方、タイやチリなどの現地通貨建て債券のポジション、韓国ウォンなどの通貨ポジションがマイナス寄与となりました。

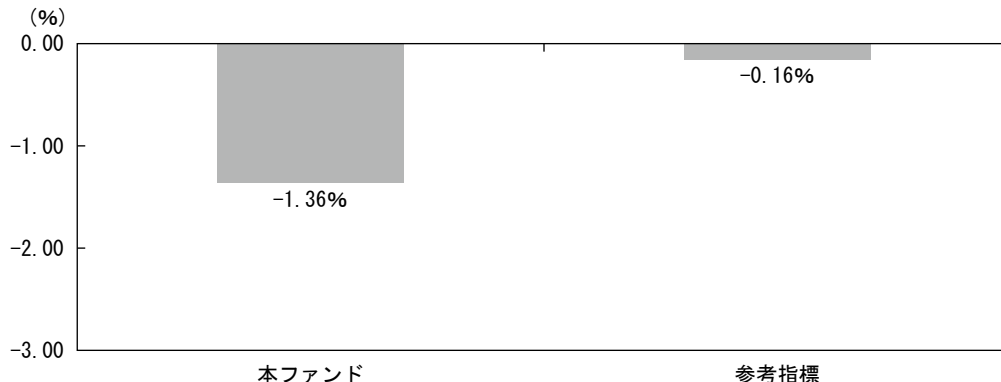
### <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

### <当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は-1.36%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-0.16%となりました。

## ■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、当期の分配は行わないこととしました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <分配原資の内訳>

(単位：円・%、1万口当たり・税引前)

項 目	第 10 期	
	2022年6月23日～2022年12月22日	
当期分配金	—	
(対基準価額比率)	—	
当期の収益	—	
当期の収益以外	—	
翌期繰越分配対象額	5,918	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針について

### <本ファンド>

今後も引き続きゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオの組入れを高位に保ち、エマージング諸国の現地通貨建て債券に分散投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

### <ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ>

現地通貨建てエマージング債券市場について、新興国のインフレ圧力は足元で緩和しつつあり、金融引き締めを調節する余地が生まれると見込んでいます。しかし、依然として地政学的リスク、各国・地域の中央銀行の利上げサイクル、先進国の政策による新興国市場への影響などには注意が必要です。このような環境下では、各国のファンダメンタルズなどを精査しつつ、ポジションを構築することが重要と考えます。

当社では、エマージング通貨については、南アフリカ・ランドやシンガポール・ドルなどを強気に見る一方、トルコ・リラやイスラエル・新シェケルなどを弱気に見ています。南アフリカ・ランドについては、高金利通貨であることなどが支援材料になるとの見方から、強気に見ています。トルコ・リラについては、政策運営を巡る懸念などから弱気に見ています。現地通貨建て債券については、南アフリカやメキシコなどを強気に見る一方、コロンビアやチリなどを弱気に見ています。南アフリカについては、インフレが相対的に落ち着いていることなどから強気に見ています。一方、コロンビアについては、双子の赤字を抱えているほか、インフレにピークアウトの兆しが見られないことなどから弱気に見ています。

今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### <ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

今後も主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行います。

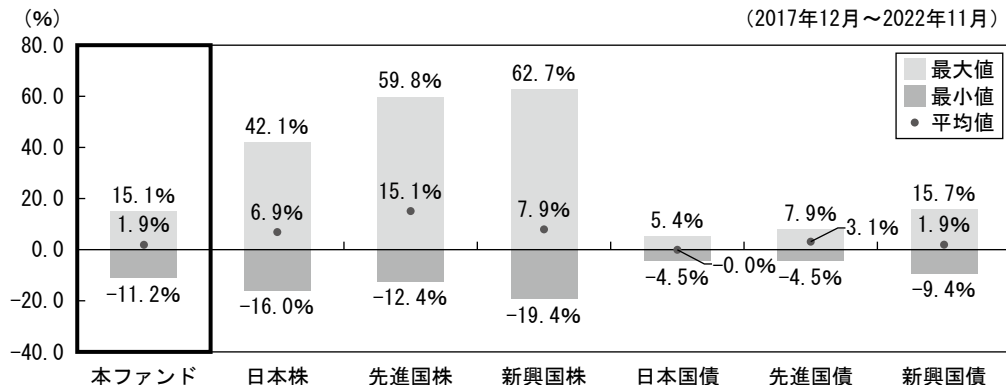
(上記見通しは2022年12月22日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。)

## 本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2028年3月22日まで
運用方針	エマージング諸国の現地通貨建て債券を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルクセンブルク籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V.            ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ</li> <li>・アイルランド籍外国投資証券            ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー            ②ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド</li> </ul>
指定投資信託証券①	エマージング諸国の主に現地通貨建て債券
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末（毎年6月22日および12月22日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

## (参考情報)

## ■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2017年12月から2022年11月の5年間ににおける1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。ただし、本ファンドの1年騰落率は、各月末の直近1年間の騰落率であるため、本ファンドの騰落率においては設定日（2018年3月29日）から1年後の2019年3月以降のデータを表示しており、過去5年間のデータではありません。

## ○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・代表的な資産クラスの騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

## 本ファンドのデータ

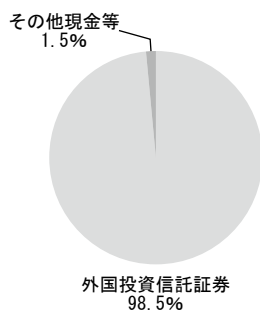
■ 本ファンドの組入資産の内容（2022年12月22日現在）

○ 組入れファンド

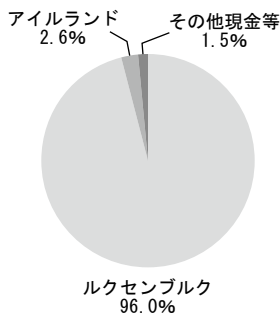
（組入銘柄数：2銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	96.0%
ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド	2.6%

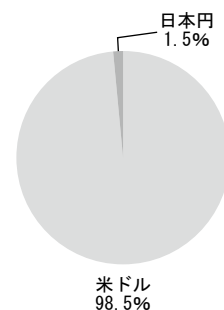
○ 資産別配分



○ 国別配分



○ 通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	第10期末
	2022年12月22日
純資産総額	435,713,106円
受益権総口数	449,513,560口
1万口当たり基準価額	9,693円

（注）期首元本額は424,964,174円、当作成期間中において、追加設定元本額は35,712,068円、同解約元本額は11,162,682円です。

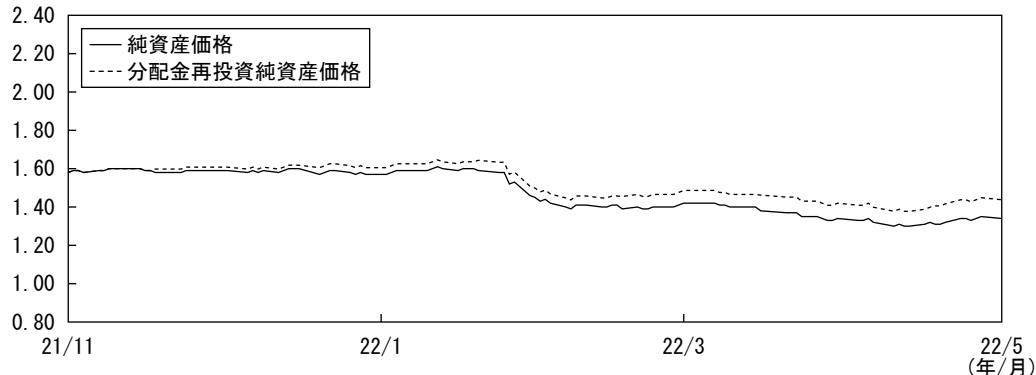
■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ> (2022年5月31日現在)

\*2022年12月22日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について (2021年12月1日～2022年5月31日)

(米ドル)



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2021年11月30日の純資産価格を起点として指数化しています。

○費用明細 (2022年5月31日に終了した期間) (単位: 米ドル)

費用	
当座借越支払利息	6,857
投資顧問報酬	4,089,415
保管費用	289,407
管理事務代行報酬	140,173
販売報酬およびサービシング報酬	18,721
名義書換事務代行報酬	45,495
年次税	71,840
監査報酬	11,505
管理会社報酬	74,394
取締役報酬	4,724
弁護士報酬	8,601
保険費用	5,371
印刷費用	16,868
出版費用	3,282
税務報告報酬	15,804
支払代理人報酬	10,761
規制報告報酬	23,374
その他費用	54,992
	4,891,584
費用合計	4,891,584

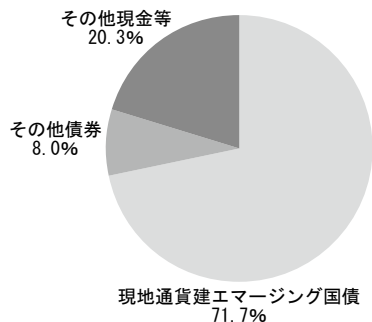
(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○債券特性値

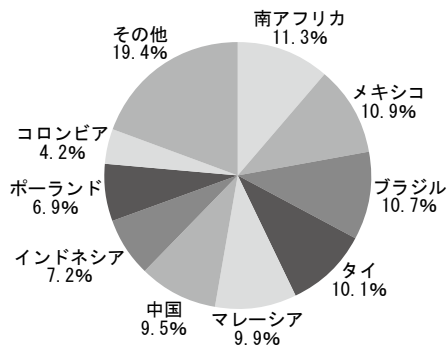
最終利回り : 8.29%

デュレーション : 4.48年

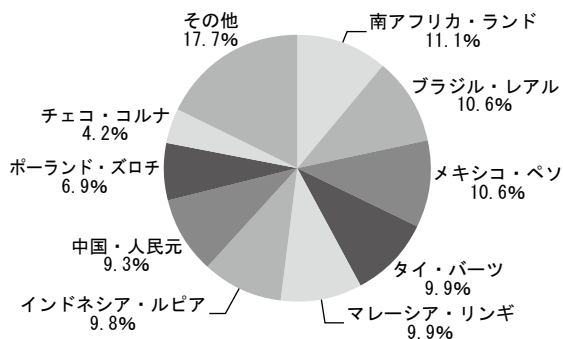
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 176銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	GS US\$ TREASURY LIQUID RESERVES FUND - X CLASS	その他	米ドル	9.5%
2	US GOVT T-BILL 18 AUG 2022	国債	米ドル	4.9%
3	BRAZILIAN GOVT 01 JAN 2024	国債	ブラジル・リアル	4.1%
4	CHINESE GOVT 2.85% 04 JUN 2027	国債	中国・人民元	3.7%
5	BRAZILIAN GOVT 01 JUL 2022	国債	ブラジル・リアル	2.9%
6	BRAZILIAN GOVT 10% 01 JAN 2025	国債	ブラジル・リアル	2.6%
7	SOUTH AFRICAN GOVT 8.75% 28 FEB 2048	国債	南アフリカ・ランド	2.4%
8	INDONESIAN GOVT 9% 15 MAR 2029	国債	インドネシア・ルピア	2.0%
9	SOUTH AFRICAN GOVT 8.5% 31 JAN 2037	国債	南アフリカ・ランド	1.9%
10	INDONESIAN GOVT 7.5% 15 JUN 2035	国債	インドネシア・ルピア	1.9%

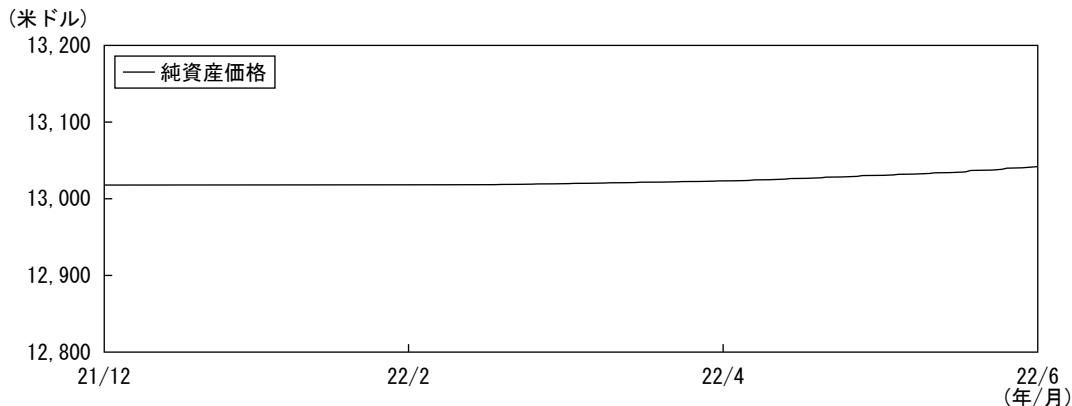
(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド> (2022年6月30日現在)

\*2022年12月22日時点で入手可能な直近までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について (2022年1月1日～2022年6月30日)

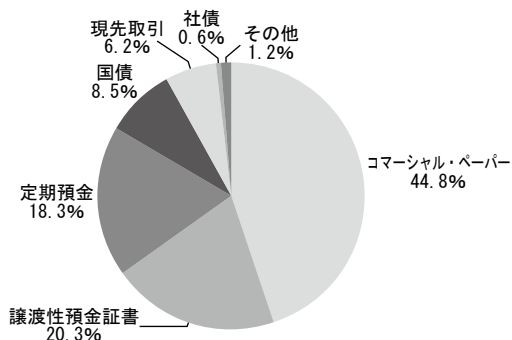


○費用明細 (2022年6月30日に終了した期間) (単位：米ドル)

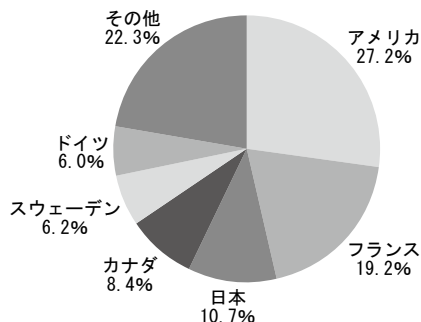
費用	
投資顧問報酬	27,371,018
管理会社報酬	1,542,123
管理事務代行報酬	505,023
保管費用	779,773
販売報酬	1,118,835
名義書換事務代行報酬	233,260
監査報酬	7,366
取締役報酬	6,801
弁護士報酬	16,129
保険費用	74,865
印刷費用	14,350
その他費用	276,530
費用合計	31,946,073
投資顧問報酬調整額	(3,381,400)
運用費用合計	28,564,673

(注) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

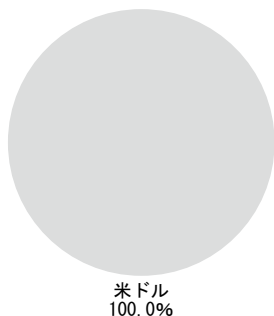
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数：220銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	Sumitomo Mitsui Banking Corp Repo 1.550% 2022/7/1	現先取引	米ドル	3.6%
2	United States Cash Management Bill 2.060% 2022/10/25	国債	米ドル	3.5%
3	Societe Generale 1.680% 2022/7/1	定期預金	米ドル	2.9%
4	Societe Generale 1.680% 2022/7/4	定期預金	米ドル	2.9%
5	United States Cash Management Bill 2.090% 2022/10/18	国債	米ドル	2.9%
6	Skandinaviska Enskilda Banken AB 1.560% 2022/7/1	定期預金	米ドル	2.4%
7	Toronto-Dominion Bank/The 1.560% 2022/7/1	定期預金	米ドル	2.0%
8	Credit Industriel et Commercial 1.580% 2022/7/1	定期預金	米ドル	1.9%
9	Credit Agricole CIB 1.560% 2022/7/1	定期預金	米ドル	1.7%
10	Citigroup Global Markets Inc Repo 1.530% 2022/7/1	現先取引	米ドル	1.6%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。